Q 北海道の農業は どんなところが特別なの？

A それぞれのエリアで、天気や気温に合わせた作物を育てています。

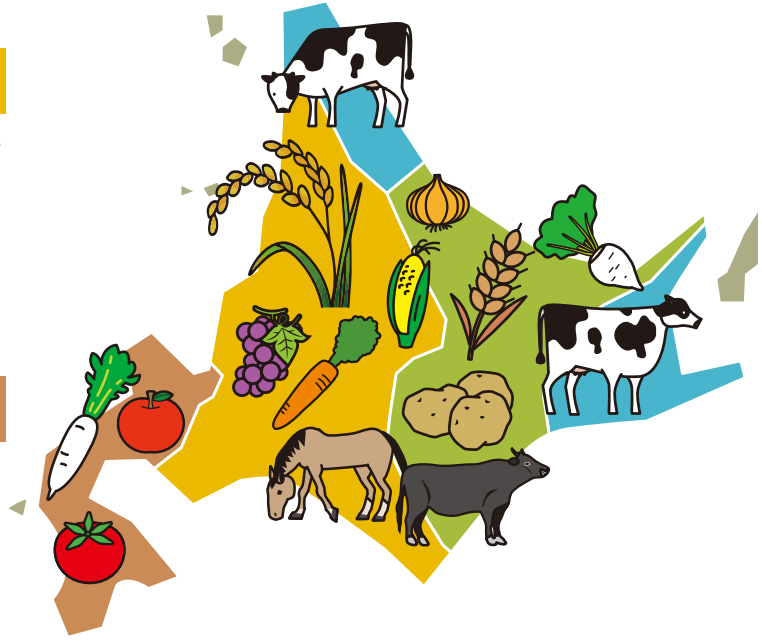
北海道は、東から西、南から北までとても広い場所です。だから、夏は暑い所・冬に雪がたくさん降る所など場所によって天気がちがいます。それぞれの場所の特長をうまく使って、農業をしています。

道央エリア

北海道でできるお米のほとんど（9割）が作られています。
野菜や花もたくさん作られています。
牛や馬を育てる牧場もあります。

道南エリア

温かい気候に恵まれ、お米のほか、
トマトやほうれんそうなどの野菜、
りんごやぶどうなどの果実を作っています。



道東（酪農）エリア／道北エリア

夏でもあまり気温が上がらないので、お米や野菜はあまり育ちませんが、広い大地と涼しい気候をいかして、牛や牛のエサになる草を育て、牛乳をしぼる日本最大の酪農地帯です。

道東（畑作）エリア

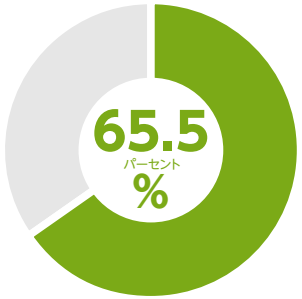
広い土地をいかして小麦や大豆をはじめ、じゃがいも、たまねぎ、ながいもなどが生産される、大きい畑作地帯です。

Q 北海道が生産量1位の農産物をいくつ知っていますか？

A 生産量が1位の農産物がたくさんあります。

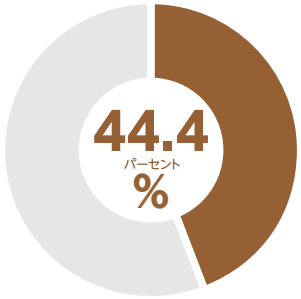
生産量が全国1位の主な農産物 ※令和5年度

【小麦】



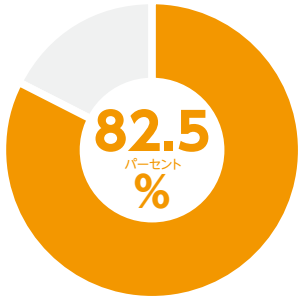
北海道 71.7万トン
全国 109.4万トン

【大豆】



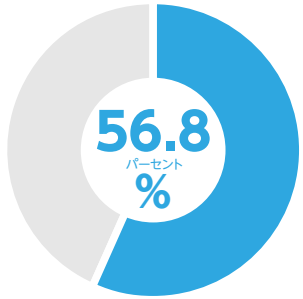
北海道 11.6万トン
全国 26.1万トン

【じゃがいも】



北海道 193.0万トン
全国 234.0万トン

【牛乳】



北海道 414.7万トン
全国 729.9万トン

Q 北海道の食料自給率（自分たちで食べるものを自分たちでつくっている割合）はどれくらい？

A 北海道の食料自給率は全国1位です。

北海道の食料自給率

※食料自給率都道府県順位/令和4年度

順位	1位	2位	3位	4位	5位	
カロリーベース	**北海道 218%**	秋田県 196%	山形県 145%	新潟県 117%	青森県 116%	全国 38%

食料自給率とは？

食料自給率とは、
「自分たちで食べる食べ物のうち、どれだけを自分たちで作っているか」をあらわす数字のことです。

1戸あたりの農地面積

農地面積とは、野菜や米などを育てるために使う畑や田んぼの広さのことです。
北海道は、ほかの県と比べて約14倍の広さがあります。

1戸あたりの畑や田んぼの広さ		
北海道（A）	都府県（B）	（A）/（B）
34.1ha	2.5ha	**13.5倍**

※令和6年度

しかし、農家のみなさんは年々減っています

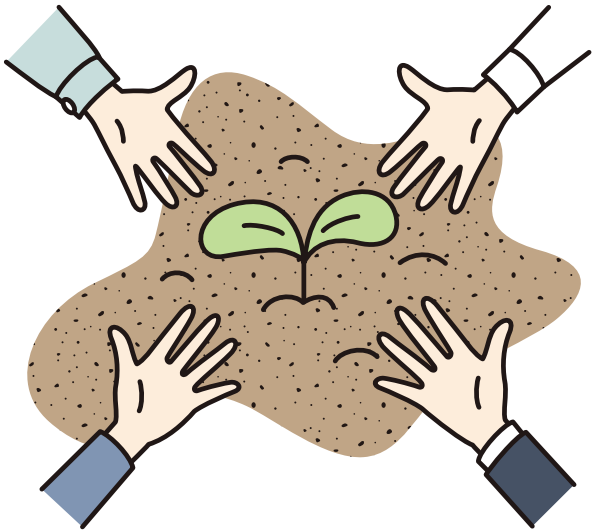
Q 農業と関係するしごとを知っていますか？

A 農業は、さまざまな業種と幅広く関わっています。

みなさんに聞きたいこと

Q1

最近、農業のおしごとをする人が
減っていますが、みなさんは、将来、
おしごととして農業をやってみたいですか?

Q2

みなさんは、今後、
農業とどのように関わって
(応えんして)いきたいですか?